

松林分館だより syourin

福生市武蔵野台1-15-1

電話 552-3624

「松林分館」のロビー展示

松林分館ロビーは、夏は「福生まちなか涼み処（すずみどころ）」、冬は「福生まちなか温み処（ぬくみどころ）」としてささやかなスペースですが、市民の憩いの場となっております。ロビーには希望する利用者の作品を展示しています。最近はお品していただくサークルなどが多く、賑やかなロビーになっています。

毎回、季節を感じるものを選び、皆様をお待ちしています。新たな発見があるかもしれません。

利用者の声

俳句サークル「金木犀」は、毎月作品を短冊に美しい書でしたためロビーに展示しています。まだ1年に満たないサークルですが、「だれでもなんでも展」では展示とともに体験コーナーも開いていただきました。積極的に活動しているサークルの一つです。会員の方の声です。

俳句を始めて

齋藤公子

昨年2月、松林分館の「初心者俳句教室」の講座から私の俳句は始まりました。「俳句は自分のために作るのです。上手に作ろうとしないので日記として詠んでみましょう」との先生の言

葉に今まで持っていた俳句に対する堅苦しい壁が一気に取り払われたような気がしました。自然の移り変わりや、なんでもない日常生活が、俳句の目で見ることで、より新鮮になります。とにかく五・七・五で詠んでみる、下手でもそれは紛れもなく私自身の心の動きや生活の記録なのです。いつでも、どこでも、1人でもできる俳句は、今や私の人生に無くてはならないもので、生き甲斐となつていきます。

昨年10月、

松林分館の「だれでもなんでも展」に初めて参加させていだき、たくさんの方が多く分野ですばらしい活動をしておられることを知りとても感動し、学ぶことや挑戦することの大切さを改めて教えられました。



写真 松林分館 ロビー展示の様子

早春コンサート

「小さい春」

「ヴァイオラの花は咲く」

コンサート

日時 2月22日(土)

午後2時～3時30分

開場1時30分

ヴァイオラとヴァイオリン、ピアノによる名曲で一足早い春を感じてみませんか。

- 楽曲 ブルッフ作曲「8つの小品 Op.83 から第1番、第8番」・シューマン作曲「アダージョとアレグロ Op.70」・ベートーベン作曲「ヴァイオリンソナタ Op.24 「春」から第一楽章ほか
- 演奏 小泉美知子氏(ヴァイオリン)、三好淑子氏(ヴァイオリン)、小松美智子氏・花輪順子氏(ピアノ)
- 対象 市内在住・在勤・在学の方(未就学児保護者同伴)
- 定員 先着60人
- 募集 松林分館
- 連絡先 552-3624へ。



●●● 利用者の声 ●●●

自分の作品を展示したり、演奏や踊りを発表する松林分館の最大のイベント「だれでもなんでも展」は毎年10月の第3週ごろ開催されます。実行委員会形式で参加者全員の話合いで開催に向け進めていきます。

昨年の10月19日、20日に開催された第33回「だれでもなんでも展」の参加者は、46サークル、個人参加は18人、2日間の来館者は、約千人でした。

だれでもなんでも展に参加して 四小ふっさ子の広場

ふっさ子の広場は、市内七つの小学校にある放課後子ども教室です。月曜日から金曜日の放課後に小学校内の教室等を活用し、安全な見守りのもと、多くの学年の異なる子どもたちとの関わりの中で学びや遊びを通してさまざまなルールを学んだり、地域の方々にサポーターとしてそれぞれの得意な分野を教えていただき、貴重な体験をさせてもらっています。

今回、四小ふっさ子の広場として初めて、日ごろ子どもたちがイベントで作成したマスコット人形やビーズ手芸、パステルアート、手さげバックを「だれでもなんでも展」に出展しました。

最初は、針を持ったことがない子どもたちに針を使わせることは

とても大変でした。針の使い方や片づけ方、針は危険なものであること等を話し小さなマスコット作りから

始めました。取組むにつれ、友だち同士で危険なことを注意しあう姿や、高学年の子が低学年の子に教える姿が見られるようになり、今ではかごバックやビーズストラップまで作れるようになってきました。子どもたちは、「出来るようになる達成感に喜びを感じられるようになりました。」

その子どもたちが頑張った仕上げた作品を今回、「だれでもなんでも展」に出展したことで、「ふっさ子の広場って何?」、「ふっさ子の広場ってどんなことをするの?」という質問がありました。事業を開始して約6年になりましたが、これからもっと地域の方々にPRを行っていきたいと感じました。展示会に参加されているみなさんには、「こんなことなら子どもたちに教えられよ。」と声をかけてもいただき大変ありがたく思いました。

またこのような機会がありましたら、ぜひ参加させていただきたいと思えます。本当にありがとうございました。



写真上「四小ふっさこの広場」の展示の様子。写真下「だれでもなんでも展」のフィナーレで福生音頭を踊りました。

松林分館利用者交流会

松林分館では利用者サークルの皆さんが偶数月の第一土曜日に交流会を開催し、決め事や親交を深めています。会長をはじめサポーターなどが中心になり、力を合わせて活動しています。

利用者交流会スタッフ紹介 利用者交流会書記 島田和代

いけばなサークル「あらぐさ」の島田です。皆さんの意見や

報告、感想を記録しています。始めた頃は意味の分からない文章になってしまっただのですが三役の方や職員の方に修正してもらい、やっと書けるようになりました。読む側に立ってわかりやすくおもしろく正確に記録する事を目標に楽しんでいきたいと思えます。これからもよろしく願い致します。

サークル紹介

剣詩舞同好会 野中美智子

剣詩舞といってもなじみの無い方も多いでしょうか? 詩吟をバックに刀や扇を手に羽織袴を着て舞います。

詩吟は歴史の勉強にもなり、身の舞いで良い運動にもなり、太刀の決め時には大声で気合を入れてストレスの解消にもなります。各種の宴で格式高い舞を披露できる喜びも沸いてきます。

毎水曜日の午後

後松林分館で和気あいあいとお稽古していますので興味のある方は気軽な見学をお待ちしています。



写真 練習風景



発行・編集 公民館松林分館
住所 武蔵野台一丁目15番地1
電話 042・552・3624